科目名	金融論 A　　Finance A						
科目担当者	藏屋 滉平　　KURAYA Kohei						
単位数	2	配当年次	2 年	授業形態	講義	開講学期	前期
履修学部・学科［区分］ 他学部他学科履修	経営学部・経営学科［専門教育科目　専門科目］ 法学部・法律学科［専門教育科目　関連科目］					ディプロマポリシーとの関連	(3)(4)
授業の概要	金融や経済に関する学問は、投資や資産運用などを連想することが多いのではないだろうか。金融論とは決して儲けるための学問ではない。むしろ経済を構成する要素が儲け（利益）を追求すると株価や為替レートがどのように動くかを知るための学問である。さらに言えば人生 100 年時代を賢く生き抜くためには必要不可欠な分野である。 2022 年に成年年齢が引き下げられ、資産形成、金融トラブルに関する教育の必要性が一層求められている現在、本講義を受講することは決して無駄にはならないと考える。 講義で扱う論点は繋がっているため欠席をせず受講してほしい。						
授業の到達目標	①おカネの動きと経済の動きの関連について理解する。 ②銀行の役割について理解する。 ③何故銀行の経営が傾くのかを理解する。 ④経済関連の報道を理解できるようになる。						

授業計画・内容		
	1	金融とは
	2	貨幣について
	3	インフレーション、デフレーションについて
	4	貨幣競争
	5	貸借と利子率
	6	金融のリスク（出資者のリスク）
	7	金融のリスク（リスクの分散）
	8	金融機関の種類と役割
	9	信用創造
	10	銀行の脆弱性（貸出・預金のリスク）
	11	銀行の脆弱性（事後対応策）
	12	リスクとリターン（資産の利回り）
	13	リスクとリターン（リスクプレミアム）
	14	電子マネー
	15	まとめ

授業外学修 (事前学修)	事前に配布した資料に目を通し、次回学習する内容のイメージを持っておく。また疑問点は調べておくこと。（毎週 2 時間程度）
授業外学修 (事後学修)	毎時間、配布資料とは別に授業内容を整理したノートを作成することが望ましい。 質問を歓迎する。（毎週 2 時間程度）

成績評価方法・評価比率・到達目標との対応	成績評価方法	評価比率	到達目標との対応
	定期試験	100%	①②③④

成績評価基準	秀：（評点 90 点以上）到達目標を極めて高い水準で達成している場合 優：（評点 80 点～89 点）到達目標を高い水準で達成している場合 良：（評点 70 点～79 点）到達目標を一定の水準で達成している場合 可：（評点 60 点～69 点）到達目標を最低限の水準で達成している場合 不可：（評点 60 点未満）到達目標に達していない場合
教科書	資料を配布
参考文献	
その他	